

第3期総合戦略の進捗状況 及び 総合戦略関連事業の令和6年度実績について

令和7年10月28日

太良町

戦略人口(目標人口)の推計と実績

	趨勢人口	戦略人口	実績	戦略人口との比較	説明
2020年(令和2年)	8,121人	8,121人	8,121人	0人	8,121人(実績)は令和2年国勢調査による確定値
2021年(令和3年)	7,964人	7,968人	7,990人	22人	7,990人(実績)は令和2年国勢調査による確定値を基に、毎月の人口移動数を加減して算出した推計人口
2022年(令和4年)	7,807人	7,815人	7,854人	39人	7,854人(実績)は令和2年国勢調査による確定値を基に、毎月の人口移動数を加減して算出した推計人口
2023年(令和5年)	7,650人	7,662人	7,675人	13人	7,675人(実績)は令和2年国勢調査による確定値を基に、毎月の人口移動数を加減して算出した推計人口
2024年(令和6年)	7,493人	7,510人	7,475人	△ 35人	7,475人(実績)は令和2年国勢調査による確定値を基に、毎月の人口移動数を加減して算出した推計人口
2025年(令和7年)	7,336人	7,358人	7,257人	△ 101人	7,257人(実績)は令和2年国勢調査による確定値を基に、毎月の人口移動数を加減して算出した推計人口(令和7年9月1日現在)
2026年(令和8年)	7,191人	7,298人			
2027年(令和9年)	7,046人	7,238人			
2028年(令和10年)	6,901人	7,178人			
2029年(令和11年)	6,756人	7,119人			
2030年(令和12年)	6,612人	7,060人			

2020年→2025年まで 毎年157人減 毎年153人減 年平均173人減

2025年→2030年まで 毎年145人減 毎年60人減

※ 趨勢人口、戦略人口及び実績の人口は「国勢調査」の数値を基に算出していますので、各年10月1日現在の人口を表しています。

※ 趨勢人口とは、総合戦略による戦略的な人口政策の取り組みを想定しない場合の将来人口を表しています。

基本目標 1 安定した雇用を創出する

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値				目標値
	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和9年度 (2027年度)
納税義務者一人当たり課税対象所得	2,696千円	2,913千円				2,800千円

② 重要業績評価指標（KPI）

指標	現状値	実績値				目標値
	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和9年度 (2027年度)
チームかしたらリビングラボから生まれたローカルSDGs事業の取組件数	—	3件				15件 (R6～R9合計)
認定農業者数	101人	98人				110人
新規農業者数(親元就農給付金認定者)	19人 (H28～R5合計)	20人 (H28～R6合計)				30人 (H28～R9合計)
漁家数(経営体)	153戸	138戸				145戸
販路開拓・商談会等出店支援補助金の活用件数	0件	0件				4件 (R6～R9合計)
太良町中小企業融資件数	12件	15件				20件
農業DXに関する取組件数	—	0件				2件 (R6～R9合計)

基本目標 1 安定した雇用を創出する

③ 令和6年度に取り組んだ主な事業

事業名	事業実績・担当課評価
親元就農支援事業 [農林水産課・農政係]	<p>【実績】 農業従事者の高齢化が進展する中、将来の太良町農業の担い手を確保し育成することを目的に、農業後継者として親元で就農した者（50歳未満）に給付金を給付した。（給付件数：10名、給付額：360万円）</p> <p>【評価】 農業後継者の担い手確保は緊急の重要課題であり、継続的な基幹産業の活動に必要である。当事業は国の交付金事業の対象にならない農業後継者に対応しており、幅広い担い手の確保対策として有効である。</p>
農業次世代人材投資事業・経営開始資金補助事業 [農林水産課・農政係]	<p>【実績】 次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の独立・自営の新規就農者（50歳未満）に対し補助金を交付した。（交付件数：6名[内夫婦1組]、交付額：825万円）</p> <p>【評価】 農業後継者の担い手確保は緊急の重要課題であり、継続的な基幹産業の活動に必要である。独立・自営で交付対象となる就農計画に基づき新規就農者になるためには大きなリスクを伴うため、年間150万円の支援は有効である。</p>
漁業従事者事業継続支援事業 [農林水産課・水産係]	<p>【実績】 漁業従事者の高齢化が進展する中、将来の太良町漁業の担い手を確保し育成することを目的に、40歳以下の漁業後継者に対し給付金を給付した。（給付件数：17名、給付額：612万円）</p> <p>【評価】 高齢化や漁獲量の減少により漁家数は減少している状況である。当事業は、40歳以下の漁業従事者を対象に支援を行うことで、漁業経営の安定化に一定の効果をもたらし、漁家数減少に一定の歯止めをかける施策として必要と考える。</p>
中小企業融資預託貸付事業 [商工観光課・商工観光係]	<p>【実績】 町内の中小企業の維持発展を図るため事業資金の融資を行った。（融資件数：15件、融資額：6,726万円）</p> <p>【評価】 令和5年度より融資件数は3件、融資額は1,126万円増え、融資の需要に対し資金を供給できた。今後も、町内の中小企業の維持発展のために資金を供給できるように制度を維持する。</p>

基本目標 2 新しい人の流れをつくる

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値				目標値
	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和9年度 (2027年度)
移動数（転入－転出） ※暦年	▲ 72人 (R2～R5平均)	▲ 68人 (R3～R6平均)				▲ 30人 (R6～R9平均)
交流人口（観光客数）	698,394人	667,331人				750,000人

② 重要業績評価指標（K P I）

指標	現状値	実績値					目標値
	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和9年度 (2027年度)	
移住・定住関連サイトへのアクセス数	19, 583件	24, 787件				21, 500件	
空き家情報バンク制度による成約件数	33件 (H27～R5合計)	41件 (H27～R6合計)				49件 (H27～R9合計)	
S N S（有料広告）のインプレッション数	973, 461件	13, 180, 000件				1, 500, 000件	
諫早市との連携による観光商品の開発	—	0件				1件 (R6～R9合計)	
ふるさと応援寄附金額	627, 521千円	505, 588千円				1, 000, 000千円	
観光D Xに関する取組件数	—	2件				2件 (R6～R9合計)	

基本目標 2 新しい人の流れをつくる

③ 令和6年度に取り組んだ主な事業

事業名	事業実績・担当課評価
移住定住促進事業 [企画政策課・企画政策係]	<p>【実績】 移住・定住の促進及び空き家の有効活用を図るため、空き家情報バンクに登録された空き家の改修、解体等に係る経費に対して補助金を交付した。（交付件数：32件、交付額：1,225万9千円）</p> <p>【評価】 移住世帯3世帯（7人）、定住6世帯（15人）で、人口減少の抑制に効果があった。引き続きさまざまな広報媒体を用いて本事業の周知を行い、空き家情報バンクの登録物件の充実を図り、さらなる移住・定住の促進と空き家の有効活用に取り組みたい。</p>
民間賃貸住宅等建設促進事業 [企画政策課・企画政策係]	<p>【実績】 移住・定住の促進及び民間アパート不足の解消を図るため、民間賃貸住宅等の建設費用に対して補助金を交付した。（交付件数：1件（1棟4戸）、交付額：1,000万円）</p> <p>【評価】 当該アパートは完成後間もなく満室となり、移住4人、定住4人の人口減少の抑制に効果があったが、内4人は町内の事業所で働く外国人であり、外国人従業員のための住宅需要の高まりも相まって、住宅不足の解消に向けた取り組みはより一層重要となっている。</p>
観光客誘客事業 [商工観光課・商工観光係]	<p>【実績】 太良町観光協会が実施する次の観光客誘客事業へ補助金を交付した。（交付額：3,311万2千円） ①太良チョコ宿泊キャンペーンとして、町内旅館への宿泊者に1泊5千円、2,336泊分を補助した。 ②夏カニフェス及び閑散期対策として、9月24日から10月31日までの間「夏カニフェス」と銘打ち、町内9旅館、2事業所の利用者に事業者負担による特典を提供した。その他、竹崎城址展望台公園ライトアップ、広報事業を行った。 ③アクティビティコンテンツ造成として、レンタサイクル事業やSUPイベントを行った。 ④インバウンド対策として、台湾・香港からの誘客を目的に台湾から太良町グルメ宣伝大使2組4名を招請し情報発信を行った。また、町民から太良町観光大使2名を選任し、交流を目的として台湾台東県太麻里郷を訪問した。中国、香港に対してはインフルエンサーを活用し観光情報を発信した。 ⑤竹崎かに旅館組合の協力を得て2025太良町カレンダーを10,600部製作し、町内事業所で配布した。</p> <p>【評価】 国内向けには宿泊補助と夏カニフェス、国外向けには台湾、香港、中国を対象に情報発信を行った結果、国外の宿泊客は増加した。また、レンタサイクルやSUPイベントなどの体験コンテンツの造成により太良町の観光の魅力が増加した。今後も国内、国外双方において誘客に取り組みたい。</p>
太良町スタンプラリー事業 [商工観光課・商工観光係]	<p>【実績】 町内にスタンプスポットを25か所設定し7月13日から9月23日までスタンプラリーを行い町内の周遊を図った。スポットは旅館9か所、飲食店等11か所、公共施設等5か所。参加者229人。 （委託料：92万3千円、賞品代：22万円）</p> <p>【評価】 閑散期対策と観光客のデータ取得を目的として行い、旅館、飲食店、景勝地に誘客を図った。スマートフォンを使ったスタンプラリーだったので、参加者のデータが取得でき、データは太良町HPで令和7年12月末まで公開している。参加者数の評価は難しいが、取得したデータを、観光行政に役立てる。</p>
ふるさと応援寄附金事業 [財政課・管財係]	<p>【実績】 ポータルサイトの中でもシェア率が高い「さとふる」「ふるなび」を追加した。また、返礼品協力事業者の開拓と返礼品の開発・ブラッシュアップに取り組んだ。（寄附件数：30,883件、寄附金額：約5億558万円）</p> <p>【評価】 主力返礼品であるみかんの不作により市場価格が高騰したことで、ふるさと納税返礼品への供給が減り、寄附者の需要に十分対応できなかったことが寄附額低下の一因となった。また、ポータルサイト「楽天」「さとふる」「ふるなび」がシェアを大きく拡大している中で、これら3サイトへの参入が遅れたことも要因と考えられる。今後は、シェア率の高い3サイトにおける掲載ページの内容をブラッシュアップしていくとともに、SNSなどを活用して町の魅力や特産品に関する情報発信を強化し、寄附者の獲得を図っていく。</p>

基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値					目標値
	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)		令和9年 (2027年)
合計特殊出生率 ※暦年	1.39	1.79					1.92

② 重要業績評価指標（K P I）

指標	現状値	実績値					目標値
	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)		令和9年度 (2027年度)
結婚祝金受給者数(成婚カップル数)	16組 (R2～R5平均)	14組 (R3～R6平均)					20組 (R6～R9平均)
出生数 ※暦年	44人 (R2～R5平均)	43人 (R3～R6平均)					50人 (R6～R9平均)
町民アンケートで「子育て支援体制」に満足している町民の割合	39.0%	—					50.0%
こども家庭センターの設置	—	0箇所					1箇所
教育ＤＸに関する取組件数	—	1件					3件 (R6～R9合計)
「たらっ子メモリー」の登録者数	230人	243人					350人

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

③ 令和6年度に取り組んだ主な事業

事業名	事業実績・担当課評価
結婚祝金・誕生祝金補助事業 [子育て支援課・子育て支援係]	<p>【実績】未婚者の婚姻を奨励するとともに、人口減少を抑制し、若者世代の定住を図るため、結婚祝金を交付した。（交付件数：7件、交付額：140万円） また、次代を担う子どもたちの誕生を祝い、健やかで健全な発育を応援するとともに、人口減少の抑制を図るため、誕生祝金を交付した。（交付件数：35件、交付額：590万円）</p> <p>【評価】結婚数や出生数に効果を見出すためには、若い世代の移住・定住に結びつくように、成婚へのしくみづくりや住環境の整備など、多方面で取り組んでいく必要がある。</p>
出産・子育て応援交付金事業 [健康増進課・健康づくり係]	<p>【実績】全ての妊婦と子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援として妊娠期から出産後の見通しを一緒に確認。出産・子育て応援給付金として、妊婦1人、児童1人につき5万円を支給し、出産育児関連用品購入等の経済的負担軽減を図った。（交付件数：55件、交付額：275万円）</p> <p>【評価】事業開始が令和5年2月からの事業。妊娠中のアンケート調査を実施し、伴走型支援の充実を図るため、希望する妊婦に面談を実施できる体制を整えた。</p>
入学祝金・卒業祝金補助事業 [学校教育課・学校教育係]	<p>【実績】子育て支援の一環として、小学校・高校の入学準備などに係る費用の経済的負担の軽減を図るとともに、太良町における人口の増加を奨励し、児童生徒の健全育成、資質の向上、家庭生活の安定を図ることを目的に祝金を支給した。（入学祝金：3万円×70名＝210万円、卒業祝金：3万円×76名＝228万円）</p> <p>【評価】今後も太良町の子育て支援施策として事業を継続する。</p>
学校給食費補助事業 [学校教育課・給食センター係]	<p>【実績】保護者の教育費の負担を軽減し、家庭生活環境の向上と安心して子どもを産み育てやすい環境づくりを支援するため、町内に住所を有する児童・生徒で、町内の小中学校に通学する児童・生徒の保護者に学校給食費の全額補助を行った。（交付対象：512名、交付額：約2,890万円）</p> <p>【評価】学校給食費の補助（無償化）は保護者の経済的な負担の軽減となっており、少子化対策や教育環境の向上と安心して子育てができる環境づくりを実現するため、今後も支援を継続する必要がある。</p>

基本目標 4

人が集い、住みたい魅力的なまちをつくる

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値					目標値
	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和9年度 (2027年度)	
町民アンケートで「太良町に住み続けたい」と思う町民の割合	65.7%	—					70.0%

② 重要業績評価指標（K P I）

指標	現状値	実績値					目標値
	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和9年度 (2027年度)	
コミュニティバス利用者数	8,225人	8,798人					8,500人
道路の整備状況についての町民の満足度	29.8%	—					50.0%
町有林Jークレジットの販売収入	—	—					2,000千円
電子申請システムを利用した申請件数	—	391件					800件

基本目標 4 人が集い、住みたい魅力的なまちをつくる

③ 令和6年度に取り組んだ主な事業

事業名	事業実績・担当課評価
コミュニティバス運行事業 [企画政策課・交通政策係]	<p>【実績】 交通弱者の移動手段を確保するためコミュニティバスを運行した。 (利用者：8,798人、運賃収入：80万円、事業費：2,233万円)</p> <p>【評価】 令和3年4月の本格運行開始から、利用者は徐々に増加している。しかしながら、ほとんど利用のない路線があるなど課題も見えてきたため、データ分析や意見交換会を開催するなど、令和7年度のコミュニティバスの再編に向けて検討を行った。住民のくらしの質の維持・向上を図るために欠かせない地域公共交通を確保するには、今後も継続して運行する必要がある。</p>
町道整備事業 [建設課・建設係]	<p>【実績】 町道利用者の安全性、利便性の向上を図るため、町道の新設改良、舗装の打替え、橋梁補修事業等を実施した。(改良7件、舗装9件、橋梁(継続含む)3件、道路維持13件、区画線1件、総事業費：2億9,467万円) また、児童・生徒が安全に登校出来るよう、嫁川に側道橋(歩道橋)を建設した。</p> <p>【評価】 町道は住民生活に欠かせない重要なライフラインであり、各地区からの工事の要望に対しては随時対応をしている。今後、町道利用者の満足度を上げるためにも工法・改良区間等の精査等を行い、補助事業や過疎債等を十分に活用し事業の進捗を図る必要がある。</p>
コミュニティ活動支援事業 [企画政策課・企画政策係]	<p>【実績】 コミュニティ活動の場となる地区公民館などの施設の充実を図るため、設備(備品)の整備に係る費用に対して補助金を交付した。(交付件数：3件、交付額：56万3千円)</p> <p>【評価】 人口減少や少子高齢化が自治会等のコミュニティ活動に影響を及ぼしており、将来にわたって持続可能なコミュニティ活動の促進を図るため、今後も支援を継続する必要がある。</p>